

鳥取市では、何かフルリモートできる都市部の企業と連携して、転職せずに移住できる仕組みを構築したいというような、そういった提言もしておりまして、都市部のU I ターン希望者を募るといようなことをやってるんですが、そこら辺はいかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

移住の新たな形として、今おっしゃられたようなテレワークで、実際に東京に拠点がありながらも、別のところで生活されるという方もおられますし、実際に住所を持ってこられるという方もいらっしゃいます。そういった場合については、移住支援金という、私どもで設けている補助制度の対象となるという場合もございますので、そういった制度を活用しながら、今議員おっしゃられるように、なかなか一部の企業と提携というところまではいきませんが、PRできることはして、そういう方々も呼び込んでいきたいというふうには考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

渡辺議員。

○7番（渡辺栄一君）

思うだけでは駄目なので、ぜひ行動に移していただきたいと思っております。何とかね、糸魚川から流出する若者がいないようにといいますか、少なくなるように。

○議長（保坂 悟君）

以上で、渡辺議員の質問が終わりました。

〔「失礼いたしました」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

ここで、暫時休憩いたします。

再開を1時35分いたします。

〈午後1時27分 休憩〉

〈午後1時35分 開議〉

○議長（保坂 悟君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、田原洋子議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。〔6番 田原洋子君登壇〕

○6番（田原洋子君）

こんにちは。田原洋子です。

通告書に基づき、1回目の質問をいたします。

1、教育相談センターと適応指導教室ひすいルームについて。

糸魚川市ホームページによると、適応指導教室ひすいルームは「不登校状態にある児童生徒に対して、情緒の安定や人間関係等の改善を図りながら、再登校に向けた相談・支援を行っています」とあります。

糸魚川駅日本海口、寺町2丁目にある糸魚川市教育相談センターは、1月1日に発生した能登半島地震で液状化の影響を受け、建物に入ると、床の浮き沈みがあるため、乗り物酔いをしたように気分が悪くなり、駐車場も地面が砂を吹き出したり波打ったりしています。

このため、現在、教育相談センターは立入りが制限され、ひすいルームは令和6年1月から糸魚川市民図書館で開設されています。

隣に体育館があることから運動ができる、図書館で好きなだけ本が読めるというメリットがありますが、図書館は静かな環境であるため、会話や物音に気を遣い、図書館の一部を間借りしているという感は否めないと思われます。

これらを踏まえて、以下の点について伺います。

- (1) 教育相談センターで受けていた教育相談はどこで行っていますか。
- (2) ひすいルームに通っている児童、生徒は何人いますか。
- (3) ひすいルームに通っていた児童、生徒は再登校、進学につながっていますか。
- (4) ひすいルームの糸魚川市民図書館での開設は一時的なものですか。それとも糸魚川市民図書館内に完全に移転する考えですか。
- (5) 図書館内のひすいルームのエリアは、ひすいルームだけが利用できる状態となっていますか。
- (6) 被災した教育相談センターは修繕をするのですか。
- (7) 糸魚川市民図書館のほかに移転先の候補の検討はされましたか。
- (8) 糸魚川市民図書館内でひすいルームを開設していることで不都合はありませんか。

2、糸魚川市のキャンプ場について。

糸魚川市は山も海もある豊かな自然を生かして、各所にキャンプ場があり、市外からも多くの方が利用されています。

私は2022年6月定例会の一般質問で「糸魚川市内にあるキャンプ場の料金見直しと予約方法について」取り上げ、料金設定の見直し、ネット予約の導入を提案しました。

農林水産課が所管する、海谷三峽パーク、雨飾山麓しろ池の森、不動滝いこいの里キャンプ場は今年度から試験的に「キャンプ場環境維持協力金」という形でテント1張り500円、利用者1人100円を鉄製のボックスに投入してもらう形を導入しました。

これらを踏まえ、キャンプ場について、その後どう検討され、改善されたのか、以下の点について伺います。

- (1) 美山キャンプ場の担当課を生涯学習課から、クラブハウス美山を管理している商工観光課へ移管と、ネット予約は検討しましたか。
- (2) ヒスイ峡キャンプ場のネット予約、ヒーリングガーデンたかなみの携帯電話の電波は入るようになりましたか。

- (3) 海谷三峽パーク、雨飾山麓しろ池の森、不動滝いこいの里の「キャンプ場環境維持協力金」はどのくらい集まり、使い道はどのようにしますか。
- (4) 不動滝いこいの里キャンプ場の盛土が今のテントより小さく、微妙に斜めになっていてテントを張りにくい。トイレの目隠しの壁があるが、男性が用を足している後ろ姿が見えてしまうのは改善すると答弁がありましたが、現状はどうですか。
- (5) 不動滝いこいの里キャンプ場の池が埋め立てられたのはなぜですか。
- (6) 荒崎キャンプ場の水はけのよくないサイト、サイトの番号が分かりにくい、野生動物が荒らす被害について、管理はどのように改善しましたか。
- (7) 高ノ峰プラトーがリニューアルオープンしましたが、どのようにリニューアルされ、利用者数や評判はどうですか。

3、各地域の交流と活性化について。

毎月発行されている公民館だよりは、各地域内に全戸配布され、糸魚川市ホームページでダウンロードでき、月ごとに、何が、どこで、何時から開催されているか一覧は出ていますが、公民館を紹介するページに、各公民館が日々の情報発信をしているSNSのリンク先は掲載されていません。

公民館事業の中には参加者を地区で限定しているもの以外は、どの地区の方でも参加できるものがあり、西海地区公民館「ふるさとウォーク」や、上早川地区公民館の「不動山ハイキング」、下早川地区公民館の「越後八十八か所めぐり」のように、地区外からの参加者が多い人気の事業もあります。

また、中学校が統廃合されたことで、それまで中学校の文化祭で展示されていた地区の皆さんの作品を発表する場所がなくなり、地区文化祭として公民館で開催されている地区があります。作品を展示されている方は、地区の方はもちろん、地区外から多くの方が見に来られることが作品へのモチベーションとなり、地区外にも同じ趣味を持つ仲間ができる利点もあります。

公民館だけではなく、地域おこし協力隊、集落支援員、地域づくりプランと、様々な角度の地域活動があり、公式LINE配信、SNS更新と情報発信に力を入れている地区もあります。

地区それぞれの活動が糸魚川市全体の活性化につながるのではないのでしょうか。

これらを踏まえ、以下の点について伺います。

- (1) 各公民館のページに、公式SNSをリンクすることはできませんか。
- (2) 糸魚川市ホームページの「地域の活動紹介」のページにリンク切れや、ページ管理者の交代などで更新されていないアカウントがありますが、最新の情報ではないのはなぜですか。
- (3) 各イベント情報をネット予約できるようにできませんか。
- (4) 地域づくりプランで発行した冊子をフォッサマグナミュージアムなどで販売はできませんか。

以上で、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

田原洋子議員のご質問にお答えいたします。

1 番目のご質問につきましては、この後、教育長から答弁いたしますので、よろしくお願いいたします。

2 番目の 1 点目につきましては、移管については、クラブハウス美山と一体的な活用ができるタイミングを見定めたいと考えております。

また、インターネット予約は導入しておりませんが、市民の利便性の向上と行政事務の効率化を図るため、公共施設共通のインターネット予約システムについて調査・研究しております。

2 点目のヒスイ峡キャンプ場は、高浪の池キャンプ場への集約を検討していることから、インターネット予約などの設備投資は控えております。

また、ヒーリングガーデンたかなみは、携帯電話の不感地帯であることから、W i - F i により通信環境を確保しております。

3 点目につきましては、今年度は 3 施設合計で約 3 4 万円集まり、各施設の補修費や維持管理費として使用いたしております。

4 点目につきましては、5 年度に改修工事を実施し、改善いたしております。

5 点目につきましては、利便性の向上と安全確保を目的に実施いたしましたものであります。

6 点目につきましては、土壌を改良し、転圧整地する改修を行っております。

サイト番号につきましては、受付時に注意事項を記した案内図をお渡しし、対応しております。

7 点目につきましては、管理棟・トイレ棟の改修、広場の整備などを行い、今年度は 2, 4 9 5 人のご利用があり、好評と聞いております。

3 番目の 1 点目につきましては、公式 S N S を運用している地区公民館はまだ一部であります、市の公民館ページに、リンクを貼り付けることは可能であります。

2 点目につきましては、地区のホームページが更新されたことに伴い、リンクが切れたものでありますが、現在は正しく表示するよう修正いたしております。今後は、地区と連携を密にし、適切に管理してまいります。

3 点目につきましては、地区公民館が主催するイベントについて、既にインターネット予約を導入している事例があり、今後、活用の拡大を進めてまいります。

4 点目につきましては、地域づくりの取組を市内外に紹介することは大切であり、販売等について相談いただければ対応してまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

 靄本教育長。 〔教育長 靄本修一君登壇〕

○教育長（靄本修一君）

 田原洋子議員のご質問にお答えいたします。

1 番目の 1 点目につきましては、教育相談センターや市役所相談室で行っております。

2 点目につきましては、6 年度は 7 人であります。

3 点目につきましては、教室復帰や別室登校等につながっている生徒がおります。

また、多くの生徒は高等学校に進学しております。

4 点目につきましては、現時点では一時的なものとして考えており、移転先等については、今後
も検討してまいります。

5 点目につきましては、平日の 9 時 3 0 分から 1 4 時 3 0 分までは、ひすいルームが占有してお
り、平日の 1 5 時以降や休日、夏休み等の長期休業中は、他団体が利用することがあります。

6 点目につきましては、現時点では考えておりません。

7 点目につきましては、市の施設や空き物件を見学しましたが、現時点では、適当な物件は見つ
かっておりません。

8 点目につきましては、現状では、大きな不都合はないと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6 番（田原洋子君）

では、まず 3 の各地区の交流と活性化について再質問いたします。

まず、糸魚川市内の公民館の対象区域は何を基準に設置され、職員の配置や開館日、運営方法に
ついて、青海、糸魚川、能生で違いはありますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

磯貝生涯学習課長。〔教育委員会生涯学習課長 磯貝恭子君登壇〕

○教育委員会生涯学習課長（磯貝恭子君）

お答えします。

地区公民館については、市内全部同じ制度で運用しております。配置する職員の数につきましては
は、地域の世帯数や高齢化により、一定の基準を基に配置はしております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6 番（田原洋子君）

今回、これをなぜ取り上げたかという、やはり学校の統廃合、特に中学校の統廃合で核となっ
ていた中学校の代わりに公民館の役割がとて大きく感じています。公民館というの
は、営利を目的とせず、生涯学習や文化活動を支援する役割、そのほかに自治会の活動拠点となっ
ている場合が多く、公民館と自治体活動というのは切っても切り離せないと思っております。糸魚
川市のホームページを見ると、1 2 月だけでも事業がぎっしりあって、もう本当に細かい字でたく
さんあります。中には、これからお正月を迎えるので、そば打ち教室やお正月の飾り紙、それから
ミニ羽子板づくりなど、季節感があって、どれもとても魅力的です。

ただこれが、この地区の方しか参加できないのか、ほかの地区からも喜んで受入れできるのかと
いうのが、ちょっと伝わらないのかなと思っています。イベント・事業によっては、材料費だとか、
いろんな様々な観点で、地区内に限定してることもあると思うんですが、場所によっては、ほかが

ら来ていただいたら大歓迎という地域もあると思います。まず、この居住エリアを限定しないものについては、ほかからの参加を大歓迎ですよというふうな表示なり、PRの仕方というのはできないものでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

磯貝生涯学習課長。〔教育委員会生涯学習課長 磯貝恭子君登壇〕

○教育委員会生涯学習課長（磯貝恭子君）

お答えします。

公民館は、やはりその地域の方を主に対象にしている事業のほうが多いんですが、中には、例えば西海で言えば海谷まつりとか、下早川で言えば八十八か所巡りみたいによく呼びかける事業がございます。そのような事業については、現在は、公民館のほうからおしらせばんに載せてほしいという連絡をいただきまして、市のほうのおしらせばんのほうに広く周知をしているという状況であります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6番（田原洋子君）

今お聞きしたように、広報紙に載せていただくのが一番市民に広く伝わるんですが、例えば西海地区で農業に取り組む地域おこし協力隊の方が今、赴任されていて、毎年、えだまめもぎとり体験があるんですね。これは、西海地区の方は、回覧板なり公民館だよりも掲載されているんですが、広報に間に合わなかった場合とか、例えば生育を待ってて、どうしても広報紙の締切りに間に合わないこととかもあります。

ただ、このエダマメは、西海で全部消費しているわけではなくて、町なかの直売所で扱われているエダマメで、地域おこし協力隊というと企画定住課、農業というと農林水産課、公民館が申込先になるので生涯学習課というふうに、やっぱりこの横のつながりがとても大事だと思ってるんですね。このような地域おこし協力隊は、やっぱり糸魚川市全体で受け入れたりとかしていかなきゃいけないと思うんですが、まず、横のつながりについて、企画定住課はどうお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

議員おっしゃられるように、市役所の中の縦割りではなくて横串が刺さったように連携して取り組むといったところは、とても大切かと思っております。今ほどの協力隊の例でいきますと、農業を担当している協力隊と公民館とは密接につながってる部分もあると、自治会ともつながってますので、そういった中でうまくPRができればいいのかなというふうには感じております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6番（田原洋子君）

西海だけではなく、上早川のSNSは、まず、フェルトで作られた焼ヤマンというキャラクターがいて、ほぼ毎日のように雪が降ったよ、切り絵教室があったよって、ユーチューブで動画配信をしています。

田沢まちづくりの会では、おうみ祭りに合わせて、なぎさドームで高校生のライブをしたり、海の日に海岸清掃と海洋プラスチックを考えるイベントをしたりして、外に向けて発信しています。この海の日の海岸清掃のイベントは、すぐその田沢小学校だけではなく、青海小学校の子供が参加していたり、市内3つの高校生がボランティアとして参加もされていました。公民館活動というのは、地域の活動も大事なんですけど、やはりその学校で体験できないものとか、例えば小学生と高校生のつながりというような活動も、とても大事にされてると思います。

まず、そういったSNSとか、それぞれの活動を、まずどれだけ把握して、ちゃんとリンクが貼れてるかだけ確認できますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

中村企画定住課長。〔企画定住課長 中村淳一君登壇〕

○企画定住課長（中村淳一君）

企画定住課のほうで管理をしておりますホームページの地域の活動紹介のところでは、地域づくりプランを策定しております地区を中心に、ホームページを作っている地区が6地区、それ以外に、ブログ、フェイスブック等でSNSの発信をしている地区として11地区、それらについてリンクを貼らせていただいております。それ以外のものについては、地区公民館のページで確認いただくとか、それから協力隊であれば、協力隊のまたフェイスブックなりインスタグラムなりで、ご確認をいただくといった形になろうかと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6番（田原洋子君）

先ほど市長の答弁で、発行した本は、ほかで販売できるようにと言ったんですが、例えば私、西海なので海谷溪谷の写真集であったり、私が何回も言う五百羅漢、羅漢和尚さんのお墓であったりする、この文化財、載ってる本。最近では、再販された西海の昔話上・下巻というのが発売されています。やはりこういう発売も、公民館で発売しているので、ぜひ多くの方の目にとまって、すばらしいところがあるというふうに糸魚川のファンを増やしていただければと考えています。

では、次に、もう時間がないので、2のキャンプ場について再質問いたします。

まず、農林水産課が管理している海谷三峽パーク、雨飾山麓しろ池の森、不動滝いこいの森について、伺います。

不動滝いこいの森は、池が埋め立てられた原因は、ちょっと安全性ということだったんですが、私、絶滅が危惧されている、泡で産むモリアオガエルの繁殖地だったと記憶しております。こちらのほうの、例えばトンボの生息地だったりとか、環境についてのまず話合いとかは、どのようにさ

れたんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

今ほどお話ありますように、不動滝につきましては、利便性の向上と安全確保という部分で池の埋立てを行いました。そのときには地域の、あそこの指定管理者が、今井生産森林組合の皆さんでございますけども、確かにモリアオガエルの産卵地ということは皆さん了解しておりました。

ただ、近くに川等もありますので、ほかの生息地もあるだろうということで地域の方とのお話合っただけだったんですけども、そちらの生息地よりも、やはり利用者の安全を優先ということで、今回、埋立ての工事を実施させていただきました。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6番（田原洋子君）

私も、このところ行ったら、モリアオガエルはいつもどおり卵を産んで、やっぱり下に卵が落ちて、もう地面の上でおたまじゃくしがふ化していて、ちょっとかわいそうだなとは思いました。ほかの生息地もあるということであれば、ぜひともそちらの生息地を守っていただければと思います。

この3つのキャンプ場、環境維持協力金という形で頂いているんですが、まず、利用者の声や管理人の方からのご意見とかは、お聞きしてますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

本年度から、協力金という形で徴収させていただいております。それまでも、やはり予約のときですとか管理人がおるときには、やはりただでよろしいんでしょうかという、非常に恐縮する声というのはお客様から聞いておりました。

今回、協力金という形で徴収させていただきましたところ、大きな不満といいますか、お客様から聞いておりませんし、頂いたお金で、今まで1回だった草刈りが、2度、3度という形で、非常に利用者の利便性にはつながっているのかなというふうには感じております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6 番（田原洋子君）

3つのキャンプ場で約34万円、この金額に対して、市としては多いと思いましたが、それとも予想より少ないと感じましたか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

協力金そのものが、お一人当たり100円、また、テント一張り500円ということで、非常に金額的には、ほかのキャンプ場から比べると安いのかなというふうに思っております。

ただ、もう少したくさん欲しいなという気持ちはありましたので、少し少ないかなという気はしておりますが、今後の利用者の皆さんの推移を見ながら検討してまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6 番（田原洋子君）

協力金なので、本当にその金額を入れたのか、今までのお客様みたいに本当にただでいいんですかとか、たくさんもっと払いたいわって方もいたと思うので、単純には割り算計算はできないと思うんですが、今までゼロだったところが34万というのは、大きな収入だと思うんですよ。特にキャンプ場の、先ほど言った草刈りだとかトイレ掃除というのは、どこのキャンプ場もすごく丁寧にされていて、草もやっぱり元気よく伸びるところを一生懸命草刈りしていただけてます。オープンのとくと、あと閉園のときは、すごく人手が足りないの、そういう方たちの対価としてお支払いいただければ、またキャンプ場に対する愛着とか、協力しようって方も増えていくのではないかなと思ってます。

ただ、あと海谷三峽パーク、オオタカの生息地であって、最近ではドローンを飛ばす方がいて、繁殖に影響がないか心配する声があります。例えばそのような注意喚起の看板を立てるなどとかにも、この協力金使えますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

特に最近、子供たちの利用も多くなってきましたところ、やはり少しルールを逸脱したような利用も増えてきておりますので、そういう注意看板というのは必要だというふうに私ども施設管理者も見ております。そちらのほうは協力金でなく、あくまで施設管理者であります市のほうで設置ということも可能ですので、指定管理いただいている方々と、また今後、協議してまいりたいというふ

うに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6番（田原洋子君）

前回、私、質問してから、能生の荒崎キャンプ場の水はけの改良、それから高浪の池の電波、不動滝いこいの里のトイレなど、改修していただいて、キャンプ場に訪れた方が気持ちよく利用できれば、また糸魚川のリピーターになって、ロコミでさらに糸魚川の来客数が増えるんじゃないかと考えています。

糸魚川の高ノ峰プラトー、ちなみに高ノ峰プラトーは、糸魚川市の管理から外れてると思うんですが、今どのような運営状態になっているかだけ、確認させてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

星野農林水産課長。〔農林水産課長 星野剛正君登壇〕

○農林水産課長（星野剛正君）

お答えいたします。

高ノ峰プラトーにつきましては、施設の所有も運営も大和川生産森林組合が行っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6番（田原洋子君）

キャンプ場という私、高ノ峰プラトー、ぜひターザンロープの復活をって毎回言ってるんですが、今回も言っておきます。森林公園のいいところって、そのまんま森林の、例えば糸魚川のすばらしいブナ林を見たりとかいうのだけでもすばらしいんですが、どうしても私、小さいときの思い出のターザンロープ、復活したらいいなと思ってるので、何かそういう遊具も、体を使って遊べるものがあつたらいいのかなということだけお伝えしておきます。よろしいでしょうか。

では、1の教育相談センターと適応指導教室ひすいルームについて、再質問いたします。

1月29日の総務文教常任委員会で、能登半島地震の被害状況の現地視察を行っております。寺町の糸魚川市教育相談センターにも行っています。この資料によると、建物の危険度被害状況調査を新潟県建築士会糸魚川市部へ委託、その結果を受けて、修繕工法等を精査して対応を検討とあります。

まず、この調査の結果は出たのでしょうか。

○議長（保坂 悟君）

どなたが答えますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

古川こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 古川勝哉君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（古川勝哉君）

調査の結果、建物の躯体自体には問題ないのですが、ご覧いただいたように床や壁がゆがんでしまっている状態で、使用するには、やはり健康被害といたしますか、めまいを起こしたりすることもあるので使わないほうが良いというような報告を受けています。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6 番（田原洋子君）

確かに私も入ったときに、車酔いはしないタイプなのに、やっぱり入ってるだけでちょっと気持ちが悪くなるぐらいの、何ていうんだろうかな、沈んだりとか浮き上がったりしてるところがあるなと思いました。

それで、先ほどの市長答弁で、教育相談もセンターもしくは市の相談室で行ってるってことだったんですが、こんなような、めまいを起こすような可能性がある場所で相談を受けててもいいものなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

古川こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 古川勝哉君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（古川勝哉君）

相談の依頼があった方には状況を話して、相談者の希望で、例えば教育相談センターのほうが近いので、そちらでいいという方もいれば、あそこは嫌だという方については、市役所の相談室で行ってます。教育相談センターでも、相談室の1室だけ少し被害が少ない、床がゆがんでいないところも部屋もありますので、できるだけ被害の少なかった場所を使って相談をしておりますし、あわせて、電話相談、これまでもやっておりましたが、電話での相談も多くなっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6 番（田原洋子君）

この修繕とかは考えていないということなんですが、まず、図書館で続けることに対しても、ほかの検討をしたんだけど場所も見つかっていないってことでしたよね。それで、まず市長にお聞きしたいんですが、糸魚川市は、ひとみかがやく日本一の子どもを育むをスローガンに掲げ、0歳から18歳までの一貫教育に取り組んでいます。教育費相談センターとひすいルームの役割・必要性は、市長はどのようにお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

非常に児童生徒に対して、やはり多様性の今時代でございまして、それに対応できることが大切かと思っております。学校だけでできないものについては、今言ったようないろんな対応をしたいわけでありますので、必ずしも1か所であるということではないだろうと捉えているわけですので、その児童生徒に適した場所というのも大事だと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6番（田原洋子君）

では、次に教育長にお聞きします。

ひすいルームに通っている子供たちにとって、ひすいルームはどのような場所であるべきで、最優先させなければいけないことは何だとお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

靄本教育長。〔教育長 靄本修一君登壇〕

○教育長（靄本修一君）

お答えいたします。

ひすいルームに通っている生徒が中心なんですけれども、子供たちの声をスタッフの方から聞いていただきました。スタッフの方々とのミーティングの中で、どのようなその思いで子供たちがいるかということについてお聞き取りしましたところ、やはり環境の変化というよりも、自分たちが受け入れられて、温かく見守っていただいて、居心地がよくて楽しい時間を過ごせるというふうな部分からして、やはりスタッフの皆さんが、いつも変わらないで私たちを迎えてくれているのが一番うれしいんだというふうな話を生徒たちが話したそうです。その話を私はスタッフの皆さんから聞いて、確かに環境の変化、大きな変化はあったんだけど、そういった環境ということももちろん大事かもしれないんだけど、やはり直接自分を理解してくださるスタッフの方が身近にいてくださる。いつも変わらないでいてくださるということが、どれだけ子供たちの心の中で大きなウェートを占めているかということをお聞きしたときに、やっぱりスタッフの皆さん方の存在ってのは物すごく大きいんだな。しかも変わらずにいてくれるというふうな部分のところについては、何か心が打たれるような気がしました。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6番（田原洋子君）

今、図書館でひすいルームを一生懸命やってるんですが、3階の和室と視聴覚室を利用しているということですね。教育相談センターでは、相談室が独立してあったりとか、調理実習というか料理をするという体験をするための場所もあったと記憶してます。

ただ、図書館の3階に、そのような調理をする経験が積める場所だったりとかというのは、あるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

古川こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 古川勝哉君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（古川勝哉君）

ミニキッチンといいますか、流しが1つあります。

ただ、今は修繕しないと使えない状況でして、水は使えるんですが、火は使えない状況になってます。その中でも工夫して指導員の方が、カセットこんろを持ってきて調理をしたりというようなこともやっております。

相談については、和室を少し改修しまして、事務室と相談室兼用という形で、これから使っていきたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6番（田原洋子君）

確かに一番大事なのは、スタッフの方と、あとその生徒たちに、子供たちに接する人の気持ちというのが私も一番大事だと思うんですが、そうは言っても、ある程度の場所なり、何ていうんだろうか条件というのが大事だと思ってるんですよ。例えば今、和室改修されたということなんですが、和室というのは、ふすまの私イメージがあって、個人情報保護だったりとか、例えば3階はひすいルームで、安心して子供たちがいれる場所だよというためには、一般の方の立入りだったりとか、いきなりガチャって間違えて開けられないようにすることも大事なのかなと思うんですが、今その辺の環境はどうなってるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

古川こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 古川勝哉君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（古川勝哉君）

今、和室の改修が終わったところで、まだ正式な事務室の移転はしていません。

ただ、したとしたときに、書架に鍵をかける。それから、和室の入り口に鍵をかける。それから、できるだけ個人情報、重大なものについては置かないようにして、今の教育相談センターを金庫代わりといいますか、そちらに重大なものは置いて、そのほかのものについて、ある程度のものは、書架に鍵をかける。入り口に鍵をかけることで対応していきたいと思います。

また今後、3階に一般の方が、ひすいルーム使用時に来れないように、来れないというかご遠慮いただくように、貼り紙をするなどして対応していきたいと思ってます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6番（田原洋子君）

ただ、図書館というのは、土曜自習室とかで使われてることがあると思います。そうすると、私、自習室を使っている人たちも糸魚川市で子供たちでと思うと、じゃ、その子たちが自習室なくなり

ますよってわけにいかないと思うんですね。

ただ、ひすいルームは、やっぱり占有じゃないと、例えばいろんな道具を置いてあったりとか、それを一旦片づけたりとかいう手間も出てくると思うんですよ。その辺の調整はどうするつもりでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

古川こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 古川勝哉君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（古川勝哉君）

平日の夕方に開放する場合は、それから、土・日曜日の土曜自習室とかで使う場合については、大事なものは倉庫にしまっただけを閉めるようにすることにしています。

ただ、委員おっしゃるように手間なんですけど、致し方ない状況だと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6番（田原洋子君）

教育相談センターが、まだ全然修繕とか建て替えるという予定がなくて、もうしばらくの間、もう簡単に1か月、2か月ではなくて、かなりの期間、図書館を使うのであれば、やっぱりそこをひすいルーム占有だとか、土曜日になったら片づけなきゃいけないとかではなくて、占有していく必要性が、私はあるんじゃないかと思っています。

ただ、図書館が悪いとかではなくて、図書館も、例えば鍵を、月曜日、休館日でも開けたりとか、協力していただけることはすごくしていただいているとは思っています。なので、その辺の調整をもっとしていただければと思います。センターには、2階に卓球台があって、体を動かしたいときは、この卓球とかで運動とかしてるんだというふうにもお聞きしました。

まず、この卓球台とかを入れるスペースはあるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

古川こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 古川勝哉君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（古川勝哉君）

卓球台については、会議室の奥のほうに既に入れてあり、子供たちも使っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6番（田原洋子君）

ということは、その卓球台も土曜日とかになったり、自習室になる場合は、片づけるってことでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

古川こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 古川勝哉君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（古川勝哉君）

隣の倉庫に片づけます。キャスターがついてるので、注意しながら移動させたいと思ってます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6番（田原洋子君）

もう一つ、教育センターには、箱庭療法の道具があったと私、記憶してます。

箱庭療法というのは、箱の中に砂が入っていて、心理士が見守る中でクライアント、カウンセリングを受ける立場の方が、まず人や動物、乗り物、木とか花とかいったミニチュアを箱の中で自由に置いてったりとかすることで、風景とか、どういうストーリーで人間をここに置いてるんだというふうなものを創り出して、心理状態を読み解いていくものです。例えば川を造ったんだけど、橋がなくて、人間がこっちにいて、おうちが川の向こうにある場合、橋がないから、おうちに帰りたくても帰れない心理状態かどうかとか、そういうふうなのを読み解いていく道具です。

ちなみに、こういった道具は、全部図書館に移動はできてるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

古川こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 古川勝哉君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（古川勝哉君）

まさにこれから引っ越しをする段階でして、その箱庭療法の道具も移動させたいと思ってます。

ただ、土日にそのまま置いておくのはなかなか難しいので、これも隣の倉庫に土曜日は移す。使用の予定がある場合は移すことにしています。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6番（田原洋子君）

これから本格的な引っ越しを行って、これから先は、じゃ図書館のもう3階でひすいルーム、相談業務とかも本格的に行っていくという考えで、まずよろしいんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

古川こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 古川勝哉君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（古川勝哉君）

そうですね、これから引っ越しをしたり、また相談業務を始めながら、また不都合な点があれば、できるだけ生涯学習課は図書館所管ですので、相談しながらお互いに譲り合っているといいですか、利用者の方にご迷惑がかからないように、できるだけ対応していきたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6 番（田原洋子君）

ひすいルームは、開設は10時からで、図書館9時半オープンですよ。

まず、職員の出勤時間というのは、まず、9時半なんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

古川こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 古川勝哉君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（古川勝哉君）

指導員の出勤時間、8時半頃に大体出ております。大体、図書館の職員さんも8時半頃来られるし、来られない場合もありますので、休館日などありますから、鍵を1つ借りておまして、その鍵を使って入り口の鍵を開け、中に入るといふに今のところしております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6 番（田原洋子君）

ということは、ひすいルームも含めて、そこの職員は、教育センターのところで事務作業をしたりとか仕事をする必要はないってことですか。図書館で全部完結してるんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

古川こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 古川勝哉君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（古川勝哉君）

これからの話になるんですが、もう事務機能が移転して、電話、まだ電話の配線もまだしてないんです。電話やLAN配線等、工事が終了し次第、図書館の3階のほうの和室で事務機能も完結すると思っています。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6 番（田原洋子君）

先ほど、土曜日とかになると、卓球台や箱庭療法とか使わないものは全部倉庫に片づけるということだったんですが、教育相談センターを見たときに、調理実習やるだけではなくて、壁に子供たちの写真とか絵だとか習字だとかも飾られたりとかしていました。その絵とかを見て、やっぱりここは私たちの居場所なんだよとか、例えば習字とかも少しでも上手になったら成長の段階が見れるなというような、学校と同じような機能も果たしてるんだなというふうに私は感じております。それが、もうひすいルームが完全に図書館に移転したら、そういったような掲示物とかもできるようになるんでしょうか。先ほど言ったみたいに、卓球台も片づけるのであれば、毎回毎回、せっかく飾った写真や絵とか習字とかも、一旦また外して、またつけてってことを、手間をかけていくんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

古川こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 古川勝哉君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（古川勝哉君）

子供たちが作った大事な作品ですので、ないと思うんですが、土日の間にいたずらされたりというところも考えられます。また、個人情報、名前等が入っていると、個人情報にも関わりますので、その辺は掲示するか、しないか、今後、また指導員の方と相談しながら、掲示物については考えていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6番（田原洋子君）

先ほど教育長おっしゃったとおり、やはりあそこのひすいルームというのは、学校でも家庭でもない子供たちの大事な居場所だと思っています。やはり、どうしてそこに通えるようになるかという、職員の方の対応であったりとか、この温かい雰囲気というのは、すごく大事にしなければいけないと思うんですね。その職員の方が一番力を入れなきゃいけないのは子供たちに接する時間だと思うんですよ。それが、例えば片づけたりとか、その何ていうんだろうかな、安全性とかで鍵をかけたりとかするほうに労力とか時間とかが取られて、子供たちに接する時間や相談の時間が減ってはいけないと思うんですね。その辺は、どのようにお考えでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

靄本教育長。〔教育長 靄本修一君登壇〕

○教育長（靄本修一君）

お答えいたします。

田原議員おっしゃるように、子供たちとの限られた時間の中で、いかに関わりながら子供たちの心に寄り添って、子供たちが願う活動を一生懸命やって、充実感・達成感みたいなものを持たせて、またあしたねという形でもって、心の安定みたいなものをどんどんつくっていくわけですけども、片づけたりというふうな作業的な部分の中での生徒との関わりも、これ、大変大事な場面なんです。清掃とか後片づけとか準備とかというふうな部分も、やっぱり大事な教育活動だというふうに私は捉えています。ただ単に、その作業等に奪われる時間が、大変子供たちの触れ合いが短くなるんじゃないかという見方もあるかもしれませんが、そういう場面も教育活動の一環だというふうに私は捉えています。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6番（田原洋子君）

確かに日本の学校では、掃除が子供たちが行うということは、すごく世界各国から見て、すばらしい活動だと。掃除を通じて、自分が使ってるところは自分で片づけるんだとか、自分たちが使ってるところは、自分たちが汚せば掃除する人も大変だよねという教育の一環でもあることから、そ

の片づけたりという作業もすごく大事だと思います。

ただ、やはり今までのセンターでは、その手間だったり時間がない分、子供たちに接したりとか、例えばその分、職員が増えてるわけじゃないので疲弊しちゃいけないと思うんですよ。やっぱり子供たちの、関わってる方たちが、その職員の方たちが、今までどおり1年もたってますが、これから本当に移転して、そこを本格的に使うのであれば、やはりこれから先、起こるであろう不都合だったり、子供たちの不安なところが助長されるようではいけないと思います。その辺、職員の方たちとよく話し合っていただけますでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

古川こども教育課長。〔教育委員会こども教育課長 古川勝哉君登壇〕

○教育委員会こども教育課長（古川勝哉君）

現在の教育相談センター、地盤、それから基礎の工事について試算したところ、約3,000万から4,000万円かかるとの試算が出ております。能登半島地震で被害を受けた場所ですので、そこに再建したときに、また同じような地震が起きたときに、また大きな被害が出る可能性もある。

ただ、やっぱり大事な子供たちのための施設ですので、早くしっかりと居場所をつくってあげたいというのは、これは教育委員会みんなの願いであります。

今、学びの多様化検討委員会のほうでも、学びの多様化学校と一緒に教育相談センターの相談機能、それからひすいルームの機能を一緒にしたらどうかという案も委員のほうから出ています。そちらの議論と状況を見ながら、また相談センターのちゃんとした場所といいますか、移設する場所等について、これからしっかりと検討していきたいと思っています。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

鶴本教育長。〔教育長 鶴本修一君登壇〕

○教育長（鶴本修一君）

補足をさせてください。

引っ越しの作業がこれからどんどん進んでいって、少しでも使いやすいような環境づくりについて、教育委員会も一生懸命、スタッフの皆さん方と相談しながら進めていきます。教育活動を進めていくわけですから、その活動の中の困ったこと、運営上の中の困ったこと、それからいろいろ諸問題等、諸課題とか出てくると思います。そこら辺りについては、田原議員おっしゃったように、ミーティングといいましょうか、打合せみたいなものを定期的に進めていく中で、可能な範囲、それをスピード感を持って改善していくというふうなスタンスは、教育委員会としては大事に進めていきたいと思っています。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6番（田原洋子君）

最初の答弁で、教室復帰できたりとか、教室に入れなくても同じ学校内の別室に登校している生

徒、それから高校の進学というふうに、本当に子供たちにとっては、ここで復帰できるかできないかというのは、人生大きく変わってくる場所だと私は思っています。地震の発生から1年たって、それまでの間、教育委員会も一生懸命、空き店舗だったりとか市の施設だったりとか、あっちはどうだとか、こっちは通うの大変じゃないかとか、すごく検討されたと思うんですね。

ただ、私にとっては、1年もたってるのに、やっと今、全部引っ越しなんですかって正直思いました。早ければいいって問題じゃないんですが、この先も本格移転、引っ越しした後に、こういう不都合あるのに、まだ検討中ですか、ちょっと方法がまだ見つからないのでといって先延ばししてるようでは、子供たちの成長というのはすごく早いし、例えば3月から4月になって学年が変わる、進学するというシーズンになると、全く、タイミングを外すだけで違ってくると思うんですね。スピード感を持って対応していただけないでしょうか、いま一度、お願いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

靄本教育長。〔教育長 靄本修一君登壇〕

○教育長（靄本修一君）

お答えいたします。

今ほどご提言のように、スピード感を持って進めてまいります。ひすいルームに通ってくる子供たちは、中3が多いんです。だとすると、やっぱり進学、卒業・進学というな部分のところ、目の前に大きな課題がぶら下がってますので、少しでも居心地がよくて学びやすい、そしてスタッフの皆さんと一緒に充実した時間が過ごせるような環境づくりを鋭意進めてまいりたいというふうに思ってます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6番（田原洋子君）

学校に行くには様々な理由でハードルを感じている子供にとって、ひすいルームというのは社会と接する大切な場所であると考えます。学校で学ぶような、例えば調理を通じて学ぶことというのは、料理を作るだけじゃないと私は思っています。何よりも本当に、ここはあなたたちの場所なんだって、通ってもいいんだ、受け入れてくれるんだという、温かいルームを一日でも早く取り戻すために、教育委員会だけではなく、例えば図書館であるから生涯学習課も含めて、様々な担当課がこの施設は空いてるけどどうかとか、例えば倉庫に荷物を片づけるのに棚があるよとか、こういうふうな、うちは関わり方ができるよというふうに、糸魚川市全体で知恵を出して、子供たちに対して接していただければと思います。

いま一度、糸魚川市ホームページにある適応指導教室ひすいルームの目的を読み上げます。

不登校状態にある児童生徒に対して、情緒の安定や人間関係等の改善を図りながら、再登校に向けた相談支援を行っていきます。

米田市長、もう一度、子供たちに対して、学校や教育、人と社会と接することの大切さを、市長の口から教えていただけないでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

やはり、糸魚川の児童生徒の皆さんには、やはり平等な教育というものは与えられるべきだと捉えております。そういう中で、今いろいろな個々の特徴なり性格なり、いろいろ持った人たちがおられるので、なるべく今のある学校で対応できればいいんですけども、そういう学校でなかなか対応できない児童生徒については、それに対応していくことが大切だろうと思っております。やはり少子化の中においては、きめ細やかな教育で対応していくことが、我々糸魚川市の行政としての責任だろうと思えますし、そういった形でしっかりと育てていきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

田原洋子議員。

○6番（田原洋子君）

今回ひすいルームに限って質問したんですが、ひすいルームには、能生の能生ルームもあって、能生ルームは、月、水、金と毎日ではないとか、午前中だけであったりとかいうのもあります。なので、先ほど学びの多様化学校の話も出ましたが、それだって、あしたすぐ造れるわけではないと思います。糸魚川市の学校に行きたいんだけど行けないとか、学びたいという意欲がある子供に対して、本当に糸魚川市全体で子育てをしていくんだ、子供たちに関わっていくんだという強い意志を持って、教育を進めていただきたいと思います。

以上で、私の質問を終わります。

○議長（保坂 悟君）

以上で、田原洋子議員の質問が終わりました。

ここで、2時35分まで休憩といたします。

〈午後2時28分 休憩〉

〈午後2時35分 開議〉

○議長（保坂 悟君）

休憩を解き、会議を再開いたします。

次に、古畑浩一議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（保坂 悟君）

古畑議員。〔16番 古畑浩一君登壇〕

○16番（古畑浩一君）

お疲れさまでございます。一般質問もね、一番最後の大トリということで、お疲れのこととは存